

クエの栽培漁業研究

(予算区分 行政費 研究期間 2023 年度～)
担当：水産・海洋技術研究所伊豆分場 長谷川雅俊

【研究の背景とねらい】

- クエ（図 1）は関東以南の太平洋沿岸から東シナ海沿岸に分布し、定置網や釣りで漁獲されます。全長 1.5m、体重 50kg ほどに成長する大型魚で、食味が良いことから高級魚として扱われています。しかし、水揚げ量は少なく、“幻の魚”とも呼ばれています。
- 第 8 次栽培漁業基本計画で、クエは研究対象種として位置付けられ、種苗生産施設で量産を実施し、放流対象種としての適性について検討することとされています。
- 現在、不定期に漁業者による種苗放流が行われています（図 2）が、放流方法や回収率などの放流技術が確立されていません。
- そこで、クエの放流対象種としての適性を明らかにするために、漁獲資料を収集するとともに資源生態、放流技術について解明していきます。



図 1 クエ



図 2 標識放流されるクエ種苗

【期待される効果】

- クエの資源生態の解明、放流技術の確立によって、放流対象種としての適性が明らかになり、栽培漁業が推進されます。

【年次計画】

細目課題	2023 年度	2024 年度	2025 年度	研究内容
1. 漁獲状況の解明	○	○	○	クエの漁獲を遊漁の実態を含めて、明らかにします。
2. 資源生態の解明	○	○	○	市場調査で漁獲物を測定し、成長、生残等の情報を得ます。 種苗生産施設と共同で、成熟、初期生態についてまとめます。
3. 放流技術の確立	—	○	○	放流後の観察や標識放流によって、放流方法や場所の適否、漁獲回収の状況を明らかにします。

(作成 2023 年 4 月)